電力eビジネスを支えるITソリューション

藤本　俊*
森岡雄二**
野村　立**

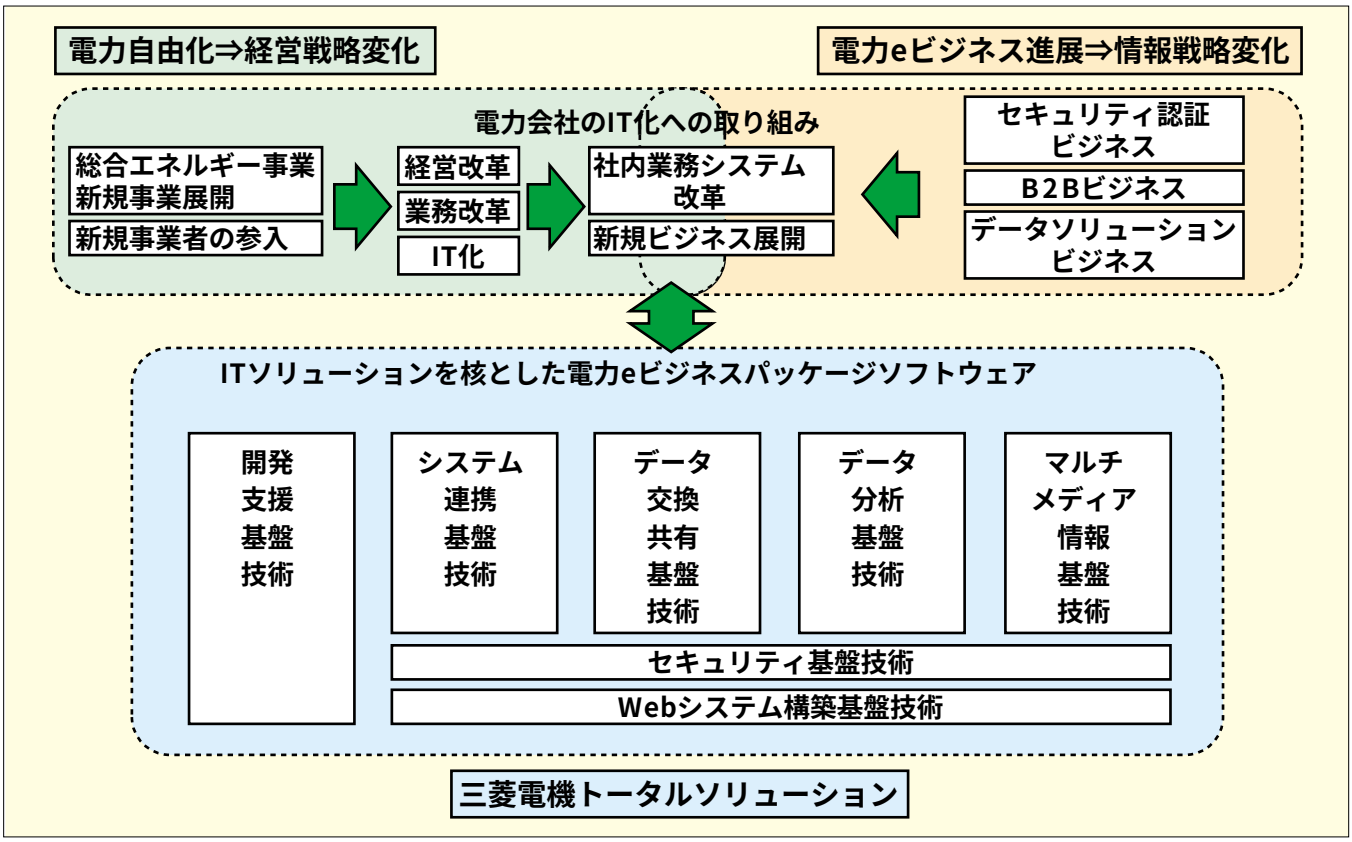
要　旨

電力自由化を控え，電力会社のeビジネスへの取り組みが加速している(電力関係のeビジネスを電力eビジネスという。)。社外電子取引，お客様サービスから新事業に至るまで広範な領域でインターネットの活用が広がっており，今後，更に進展する見込みである。本稿では，電力自由化時代に向けてのIT(Information Technology)を活用した電力ｅビジネスの概要，及びITソリューションの提供に必要な要素技術について解説を行う。

電力の自由化に向け，電力会社は，電気事業から総合エネルギー事業，新規事業へと企業価値増大に取り組んでいる。この取り組みに対して，経営改革・業務改革・IT技術などを融合して，企業コラボレーションを実現するトータルソリューションが要求されている。

また，電力会社では，電力eビジネスの一環として電子商取引・電子申請などのＢ２Ｂビジネスとそれらを支えるPKI(Public Key Infrastructure：公開鍵(かぎ)基盤)，セキュリティビジネスなどのセキュリティ認証ビジネスが注目を集めている。また，基盤を支えるデータソリューションビジネスについても，ビジネス基盤が整備され，業務システム改革・新規ビジネスとして利用できるようになってきた。

これらの動向を踏まえ，Webシステム構築基盤技術，セキュリティ基盤技術を土台として，システム連携基盤技術，データ交換・共有基盤技術，データ分析基盤技術，マルチメディア情報基盤技術，開発支援基盤技術を統合し，ITソリューションとして提供することで，電力eビジネスへのトータルソリューション提供の加速を図っている。



電力eビジネスを支えるITソリューション

電力会社では，電力自由化に対応するため，経営戦略・事業戦略の変換を進めている。こうした戦略変更に伴い，ITを用いたトータルソリューションが必要になっている。一方，セキュリティ認証，Ｂ２Ｂ，データソリューションビジネスの立ち上がりによって情報戦略も変化している。これに対して，三菱電機は，基盤技術を統合した先進のITソリューションの提供により，電力会社の業務システム改革・新規ビジネスの推進に積極的に対応している。

*電力情報システム技術センター　**電力・産業システム事業所